

## 第 26 回建物・構築物検討会 議事録

1. 日時 平成 26 年 7 月 22 日 (火) 14 : 00 ~ 16 : 40

2. 場所 日本電気協会 4 階 D 会議室

3. 出席者 (順不同, 敬称略)

出席委員 : 久保主査 (東京大学), 北山副主査 (首都大学東京), 今村幹事 (東京電力), 高橋 (東京電力), 高橋 (北海道電力), 大河内 (中部電力), 藤井 (北陸電力), 大竹 (東北電力), 増田 (四国電力), 橋本 (中国電力), 続 (九州電力), 武井 (電源開発), 奥谷 (日本原子力発電), 清水 (大林組), 萩原 (清水建設), 森山 (大成建設), 羽場崎 (竹中工務店), 中島 (東芝), 藪内 (鹿島建設), 平子 (日立 GE), 辻 (JANSI) (計 21 名)

代理出席 : 村上 (関西電力・伏見代理) (計 1 名)

欠席委員 : 伊神 (三菱重工業) (計 1 名)

常時参加者 : 田守 (信州大学) (計 1 名)

オブザーバ : 福島 (鹿島建設), 中村 (東京電力), 梅木 (中部電力), 大宮, 鈴木 (竹中工務店) (計 5 名)

事務局 : 井上 (日本電気協会) (計 2 名)

4. 配布資料

資料 No.26-1 第 25 回建物・構築物検討会議事録 (案)

資料 No.26-2 JEAC4601-2008 / JEAG4601-2008 改定スケジュール (案)

資料 No.26-3 原子力発電所耐震設計技術規程 / 指針 (JEAC/JEAG4601-2008) の改定の概要 (中間報告)

資料 No.26-4 「第 3 章 建物・構築物の耐震設計」改定案概要

資料 No.26-5 「第 3 章 建物・構築物の耐震設計」改定案新旧比較表

資料 No.26-6 「第 3 章 附属書」改定案新旧比較表

資料 No.26-7 「第 3 章 参考資料」・改定文案

資料 No.26-8 耐震設計分科会 建物・構築物検討会委員名簿

参考資料 1 JEAC4601 に関する機器・配管系と建物・構築物との課題共有会議議事メモ

参考資料 2 JEAC4601 「第 1 章 改定案新旧比較表 (機器側定時資料)」

参考資料 3 JEAC4601 「第 2 章 改定案新旧比較表 (機器側定時資料)」

参考資料 4 新基準における施設分類

参考資料 5 構造及び設備の基準に関する規則の解釈-別記 2

参考資料 6 浮き上がり挙動を考慮した検討

参考資料 7 基礎底面の傾斜の目安値について

参考資料 8 埋込みを考慮した原子炉建屋の地震応答解析法

5. 議事

(1) 配付資料確認, 委員交代確認, 定足数確認,

事務局より, 代理出席者 1 名及びオブザーバ 5 名が紹介され, 規約に基づき久保主査の承認を得た。

代理出席を含めて委員 22 名出席であり、決議に必要な「委員総数の 3 分の 2 以上の出席(16 名以上)」を満たしていることを確認した。

(2) 前回議事録の確認

事務局より、資料 No.26-1 に基づき、検討会の前回議事録（案）の概要説明があり、検討会名称等を正式名称にすること等の修文をすることで正式議事録とすることを確認した。

(3) 建物・構築物検討会委員の変更について

事務局より、資料 No.26-8 に基づき、検討会委員の変更について説明し参加委員の確認をした。

（次回耐震設計分科会により承認）

・変更：伏見実（関西電力） 村上洋介（関西電力）

(4) JEAC4601 の「第 3 章建物・構築物の耐震設計」の改定（ドラフト案）について

1) 幹事より、資料 No.26-2 に基づき、JEAC4601-2008 / JEAG4601-2008 改定スケジュール（案）の説明があった。スケジュールについては、原子力規格委員会には 9 月に完本版での中間報告（2 回目）を実施、12 月に上程予定である。耐震設計分科会には 7 月 31 日に機器・配管系検討会の改定案も一式提出され中間報告、9 月には完本版で中間報告、10 月又は 11 月に耐震設計分科会で書面投票し、原子力規格委員会に上程する予定である。

2) 幹事より、資料 No.26-3、参考資料 1 に基づき、6 月の原子力規格委員会での JEAC4601-2008 / JEAG4601-2008 改定案の中間報告内容及び課題共有会議での検討内容について説明があった。

3) 各担当委員より、資料 No.26-4～7、参考資料 2、3、5、8 に基づき、本文、附属書、参考資料の改定内容について説明があった。

今回のコメント及び 7 月 25 日（金）までコメント期間を設けるので、その間に資料の内容を再度確認し、コメントを今村幹事まで提出することにした。それを基に改定案を修正し 7 月 31 日の耐震設計分科会で改定案の説明をすることとした。

4) 基礎底面の傾斜の目安値について

藪内委員より、参考資料 7 に基づいて、基礎底面の傾斜の目安値について紹介があった。

(5) その他

・次回検討会は、9 月 9 日（火）14 時～17 時で実施することとなった。

以上